

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市サンホーム	
2 指定管理者	特定非営利活動法人 グループゆう	
3 指定期間	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで（4年間）	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和2年度 2,356人（前年度比81%） ・令和元年度 2,904人（前年度比120%） ・平成30年度 2,424人（前年度比83%）	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・指定管理者に支払った費用 64,980千円 (63,693千円) ・その他市が負担した費用 2,445千円 (2,407千円)	
	《収入》 ・使用料収入 28,883千円 (35,768千円) ・その他収入 0千円 (1,012千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 法人全体で毎年度当初に研修を行うなど個人情報保護の取り組みを推進している。 各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設・設備は適正に管理されており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。 使用後は速やかに消灯、空調設備を切るようにするなど、環境に配慮した取り組みを積極的に行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的なミーティングや職員会議・研修等により情報共有に努めているほか、新人育成においては、メンター制度を導入するなど、人材育成にも力を入れており、職員全体でサービス水準の向上を目指している。 事業者独自での利用者アンケートを学期の節目や行事の都度実施し、運営に対し常に改善を心掛けている。 また、地域の保護者や子育て機関からの相談対応についても、相談者が気軽に相談しやすいよう、一定の曜日に相談窓口を設定し、相談員がいつでも電話を受けられるよう体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、利用者個々の特性に応じた支援の提供を心掛けているほか、2カ月に1回保健だよりを発行し、利用者の健康管理に配慮した取り組みを積極的に行っている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人グループゆう）による自己評価》
<p>①職員一丸となつての感染予防対策：感染動向を注視し、職員全員が創意工夫、安心・安全な環境づくりに努めた。②小集団内での個別支援の汎化（おひさまタイム）：小集団活動に馴染みにくい児童に、個別スペースを設け、できることに着目してアセスメントを行い、特性に配慮した支援を展開した。取り組み成果も確認でき、臨床心理士のスーパーバイズにより職員のスキルアップも図れた。③チームアプローチ：重症心身障害児の安全・安心の保障のために、保育士・作業療法士・看護師等、専門性を最大限に生かしたチームアプローチを展開した。また、関連機関（家庭健康課やアーチル等）連携を強化し、地域ぐるみの支援体制構築をめざした。④保護者の不安軽減や障害受容への支援：感染予防対策強化後、再開した保護者勉強会や嘱託医発達相談のほか、ペアプロ要素を活用した勉強会「子どもへの肯定的なかかわり方」も追加した。また、家族丸ごと支援をめざし、緊急的な単独預かりや受診同行、メンタル支援、保育所への移行支援、一時保育等の仲介支援など、ケースに応じた柔軟な支援を展開した。諦めない支援を通して保護者の自律的な行動変容もみられた。⑤学童や成人分野の知見を活用した地域支援の試み：法人内成人担当と協働し、卒園児の進路先（保育所や幼稚園）フォロー訪問、卒園児の勉強会、児童館とのケースカンファレンスを試みた。一歩先を見据えた支援の契機になった。⑥アレルギー対策など児童の安全にかかわる研修・衛生管理・マニュアルの整備：手順や状態把握用シート等、より具体的な安全環境・行動の指針を職員に周知した。⑦より丁寧な人材育成：教育系の副主任（療育視点や俯瞰的な見方）とメンター職員（精神的なサポート）による重層的な新人育成ができた。⑧作業効率に配慮した体制づくり：清掃委託（週2）やボランティア導入により、効率的な感染予防・効率的な教材作成・会議時間の確保ができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の障害特性に応じた療育を工夫して行っており、同法人で成人施設を運営している経験を生かし、子どもの将来を見据えた支援の提供に努めている。保護者勉強会を定期的に開催し、児童の進路についても相談しやすい体制を整えるなど、家族支援の充実に取り組んでいる。</p> <p>また、卒園児の進路先に訪問し、進路先の職員と情報共有を行ったり、合築の児童館のほか、近隣の子育て支援センターなど、地域の施設との交流・連携促進を図り、地域の療育機関としての役割を果たすための取り組みを積極的に行っている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課